

WHO ファクトシート

水銀と健康

Mercury and health

2017年3月

重要な事実

- ・水銀は、空気中、水中や土壌中にみられる天然に存在する元素である。
- ・たとえ少量であったとしても、水銀に暴露すると、深刻な健康問題を引き起こすことがあり、胎児や生まれたばかりの子どもへの発育に対しても脅威となる。
- ・水銀は、神経系、消化器系、免疫系のシステムや、肺、腎臓、皮膚及び目に有害な影響を与えることがある。
- ・WHO では、水銀は、化学物質や化学物質グループのうち公衆衛生上の主要健康懸念のトップ 10 のひとつであると考えている。
- ・人々は、魚介類を食べる際、主としてその魚介類に含まれる有機化合物であるメチル水銀に晒されている。
- ・メチル水銀は、エチル水銀とは全く異なる。エチル水銀は、いくつかのワクチンで防腐剤として使われているが、健康リスクを有するものではない。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Mercury and health ファクトシート原文は [こちら](#)